

令和5年度 第1回福井県嶺南地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和5年7月18日（火）14：00～16：00

場 所：嶺南振興局(敦賀合同庁舎) 大会議室

1 開会

2 あいさつ

福井県 廣瀬交通まちづくり課長

3 報告

（1）福井県嶺南地域公共交通活性化協議会規約および委員の変更について

- ・事務局より資料1説明

4 議事

（1）令和4年度事業報告および決算報告について

- ・事務局より資料2説明
- ・監事より会計報告
- ・異議なし、原案のとおり承認

（2）令和5年度事業計画案および予算案について

- ・事務局より資料3説明
- ・異議なし、原案のとおり承認

（3）網形成計画の各事業の進捗状況について

- ・事務局より資料4説明

川本会長

- ・交通事業者から現在の利用状況や今後の見込み等について、情報提供をいただけたらと思います。

J R西日本

- ・鉄道についても他の業種と同じく新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたが、令和5年度に入り徐々に回復してきている。北陸新幹線についてはコロナ前の9割程度まで利用者が戻ってきている。利用者の内訳は観光がリベンジ消費で好調。ビジネスユー-スは働き方の変革やテレワーク、出張の減少により低調である。観光については首都圏から北陸への利用者が戻ってきている。コロナ禍では北陸から首都圏への利用者が低調であったが、ここ最近はこちらも戻ってきており明るい兆し。
- ・小浜線についても少しずつ回復の傾向である。新幹線開業の効果は金沢開業の際にも感じており、交流人口が増えるとともに、観光客の消費による経済波及効果が商品、運輸業、農家など広く及んでくると思われる。ここから半年が勝負で、福井の地元住民が盛

り上がっていることを発信することが重要である。開業から半年後の令和 6 年 10 月には北陸でディスティネーションキャンペーンを開催し、これに合わせて小浜線でも観光列車を運行する予定である。そのプレイベントとして、改造前の特急型車両を今年の 10 月に試験的に運行するので、こちらのおもてなしについても市町と協力して効果を最大限発揮できるようご支援いただきたい。

福井鉄道

- ・当社全体での 2022 年度決算の状況として、鉄道部門はコロナ前と比べ 95%、バス部門は郊外から中心部に入る路線について郊外人口の減少の影響があり、2019 年度比で 80% を切る状況である。国庫補助の要件でもある平均乗車密度 15 人を満たせない路線については、新たな交通手段を考えていく必要性も感じるので、最適な方法で輸送を継続したい。公共交通として地域の足を守るため、市町と相談して進めていく。
- ・バスの運転手不足が深刻である。高速バスは東京線、大阪線、名古屋線があるが、コロナ禍と運転手不足により、昨年度より東京線、大阪線は運行を休止している。名古屋線については新幹線開業に合わせて、現在の 8 往復から 10 往復に増やしてやっていきたい。会社として就職説明会を毎週開催しており、この 3 年半で 33 名の中途採用を行った。採用後の定着が課題で、33 名のうち 12 名は退職している。定年により毎年 5 名程度が退職していくことになるので、採用活動に力を入れて頑張りたい。

西日本ジェイアールバス

- ・若江線を運行している。利用者は減少傾向にあるが、コロナの影響については 2019 年比で 70% 程度、2022 年比で 95% 程度まで回復している。近江今津駅から小浜駅までの利用がほとんどであり、上中周辺で高校生の利用が多くなっている。
- ・金沢営業所ではインバウンドが戻ってきている。ジャパン・レール・バスは数千人単位で外国人観光客の利用がある。定期観光バスの越前めぐりバスの利用者も昨年度と比べて大分増えているように感じる。今後も公共交通の足として経営努力を続けていく。

川本会長

- ・続きまして、自治体の方から資料 4 に記載のある昨年の状況と今年の予定について、お話いただきたい。

敦賀市

- ・路線バスおよびコミュニティバスのキャッシュレス化を行っている。進捗については、機器の納品が今年の 2 月に完了し、これから設置工事を行っていく。新幹線開業までに導入できるよう順調に推移しており、7 月の入札後に順次工事を行っていく。

美浜町

- ・令和 4 年度に地域公共交通計画を策定した。令和 5 年 6 月 2 日からは新しいデマンド交

通としてチョイソコみはまを運行している。350 人程度の会員登録があり、乗っている実人数は 100 人程度である。コミュニティバスの令和 4 年 6 月の利用者数は 730 人、チョイソコみはまになった令和 5 年 6 月の利用者数は 870 人となり、利用者が増えている。予約便は時刻表と路線がない区域運行を 2 台で行う。朝の高校の通学時間帯は 3 台で定期便を運行し、それ以降は 2 台で区域運行をしている。今後検証を進め、美浜町にあった運行体制にしていきたい。

おおい町

- ・うみりんスマイル号の運行を実施しており、令和 3 年 4 月から大飯地域、令和 5 年 1 月から名田庄地域で運行を開始している。ルートや時刻なしで予約に応じて運行する。平日の 7:30 から 17:30 までの運行で、両地域への相互乗り入れはできない。基本料金は 500 円だが、70 歳以上や障がい者の方は 300 円で乗車できる。また、70 歳以上かつ免許返納者については 5 年間実質無料で乗車可能となっている。令和 4 年度は大飯地域で延べ 6702 人（27.6 人/日）、名田庄地域で延べ 57 人（1 人/日）の利用があった。名田庄地域の利用が少ないのは無料の福祉バスがあったためである。令和 5 年度も運行委託事業者と連携し適切に見直しを行いたい。
- ・若狭本郷駅について、令和 4 年度は駅前広場の自動消雪制御装置の機器更新を行った。また、ロータリーの改修や横断歩道の更新、車道・歩道の舗装を行っている。令和 5 年度は 1990 年の国際みどり博覧会のパビリオンを移築した駅舎が 30 年以上たっているので、老朽化対策を検討している。

小浜市

- ・地域公共交通計画を令和 4 年に策定した。計画に基づき令和 4 年の秋からコミュニティバスのデマンド交通の実証実験、市街地循環バスの実証実験を実施した。令和 5 年度は令和 4 年度に実施した実証実験のデータを基に、地域住民や事業者と意見交換を行い、小浜市にあった公共交通のあり方を検討したい。
- ・小浜駅の改修を行っている。JR のお力添えを得ながら待合室やレストランのリニューアルをする設計を行っており、敦賀までの開業に間に合わせたい。
- ・小浜線利用促進協議会については、昨年度は 100 周年記念事業として多くの事業を実施できた。今年度は敦賀開業があるのでさらに小浜線の魅力を向上させるため、ラッピング列車の運行など様々な企画を嶺南市町で協力して実施していく。

高浜町

- ・グリーンスローモビリティの実証実験を令和 3 年度から実施しており、令和 4 年度は市街地で町民向けに運行し、年間約 1,000 人が利用した。費用対効果が課題であり、令和 5 年度はイベントや観光での利用を行う予定である。グリーンスローモビリティを活用した観光商品化の事業も今年度実施予定であり、既に実施したオープンガーデンというイベントは常に満車状態で大変好評であった。

- ・令和5年度から学校行事や遠足で小浜線を利用した場合に助成する制度を創設した。学校側も小浜線を使った校外学習などを増やしていただいている。敦賀開業や舞若道の4車線化を控えているため、高浜町と舞鶴市が連携して進める「舞鶴市・高浜町連携プロジェクト アクションプラン」を6月に公表させていただいた。観光誘客や公共交通の利用促進でスタートし、成果に結びつく形で進めていきたい。

若狭町

- ・令和4年度から行っているレインボーライン山頂公園から熊川宿までの観光地を結ぶクマゴコバスの運行を行っており、令和5年度も引き続き運行する。三方駅、熊川宿で小浜線や若江線、ゴコイチバスと接続できるように運行している。
- ・また、三方駅、十村駅、上中駅に観光案内看板の設置を行い、古い看板の更新とともに多言語化表記への対応を実施したところである。
- ・令和5年度は若狭町の地域公共交通計画を策定するとともに、三方駅における電動アシスト自転車の整備を行い、三方五湖周辺のサイクリングルートをレンタサイクルで周遊できるよう整備を進めていく。

(4) 網形成計画の達成状況について

- ・事務局より資料5説明

川本会長

- ・来年度が計画の最終年度となるため、新幹線の効果も最大限に活かしながら上を目指せるように現計画を進め、次の計画に繋げていければと思う。
- ・事業者と市町には取り組み状況などは発言いただいたが、その他の委員にもご意見をいただきたい。

野村委員

- ・デマンド実証実験について、お年寄りの方が予約のやり方で戸惑ったところもあるようだが、デマンド交通については是非やってほしいというご意見であった。

川本委員

- ・オブザーバーにもご意見をいただきたい。

中部運輸局

- ・鉄道事業者等が実証事業を行う場合の補助金を鉄道部計画課でも用意している。観光とタイアップした事業や再構築調査事業も利用できるのでは何かあればご相談いただければと思う。

福井運輸支局

- ・令和5年4月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、10月から施行される予定である。エリア一括協定やバスの協議運賃制度が鉄道やタクシーにも創設される。まだ制度の詳細が不明な部分もあるがご活用いただけるようバックアップしていくので、遠慮なくご相談いただきたい。
- ・人手不足については、昨年コロナ禍で実施できなかった運転体験会を計画しているので、人手不足解消の一助として活用いただければと思う。

舞鶴市

- ・生活圏が同一ということで、6月に高浜町と連携アクションプランを策定した。観光と交通の2本柱となっており、観光拠点周遊プランやJRが敦賀から城崎温泉まで運行される新たな観光列車のおもてなし等を検討している。着地点で楽しんでもらえるよう進めていきたい。2025年には大阪・関西万博の来場者を舞鶴・高浜方面まで連れてこられるよう引き続きに頑張りたい。

嶺南振興局（二州）

- ・令和4年度は小浜線利用促進協議会で高校生と一緒にガチャ旅や小浜線利用を促す絵画の作成を行った。令和5年度も引き続き、小浜線活性化に向けた取組みを実施していく。

（5）網形成計画の改定について

- ・事務局より資料6説明

川本会長

- ・令和6年度までの現在の計画で国庫補助連動化に対応するために、事務局から説明いただいた不足部分を追加する。レベルによっては後日書面で決議をいただくのでよろしくお願いしたい。

川本委員

- ・その他、追加で何かありましたら、お願いしたい。

美浜町

- ・令和5年6月に美浜町駅前に道の駅若狭美浜はまびよりをオープンし、いちご農園などJRを降りてすぐに楽しんでもいただけるコンテンツを整備している。
- ・一方で、JRの敦賀方面からの本数が少なく、特に午前中の便がほとんどないため、そこへのアクセスが課題となっている。このため、小浜線のダイヤの改善を是非ともお願いしたい。

J R西日本

- ・小浜線については平日は一定本数を運行しており、通学でニーズが高い朝の時間帯は本数が多く、その後の時間帯は本数が少なくなっている。平日のこの運行形態はやむを得ないと感じる一方で、これから新幹線開業もあるので休日の利便性向上について議論を深めていきたい。地域のコミットメントや実施主体ごとの責任分担についても次の計画改定に向けてご相談させていただければと思う。

5 閉会